



市民交流機能の事例

庁舎施設に併設した交流機能

1. 小清水町役場

町民が日常を過ごす施設・交流の場となることを目的に、交流・健康拠点と、庁舎を一体化して整備。日常時と非日常時の垣根をなくす「フェーズフリー」の考え方を導入し、災害時の防災拠点としても機能する。

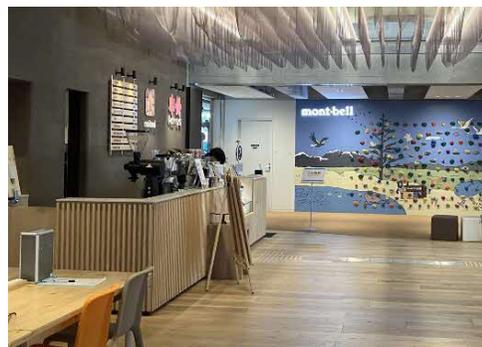
施設名称	小清水町防災拠点複合庁舎「ワタシノ」
所在地	北海道斜里郡小清水町元町2丁目1番1号
人口	4,306人（2025年6月1日時点）
開業年月日	2023年5月28日
延床面積	3,942㎡
主要施設	役場庁舎、コミュニティスペース、カフェ、ランドリー、フィットネスジム&スタジオ、ボルダリングウォール



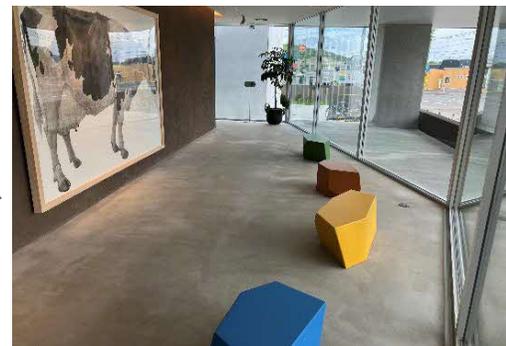
◀1F役場窓口の向かい側にカフェを併設し、電源も備えたラウンジのようなコミュニティスペースを整備▼



◀カフェの奥にはフィットネスジムとボルダリングウォール、その他にコインランドリーも入居



アートの前のちょっとした憩える空間▶



▲官民の複合施設として整備。賑わい施設の運営は民間へ委託

2. 倶知安町役場

旧役場庁舎の老朽化と耐震性能の見直しに伴い、世界的リゾートの行政機能として町の新たなシンボルを目指して整備。

施設名称	倶知安町役場
所在地	北海道倶知安町北1条東3丁目
人口	14,539人（2025年5月末時点）
開業年月日	2021年10月竣工
延床面積	4,428m ²
主要施設	役場庁舎、町民ホール、展望テラス



▲世界的リゾートである町のシンボルを目指し、庁舎を整備



◀3Fには展望テラスがあり、景色を眺めながらくつろげる場となっている



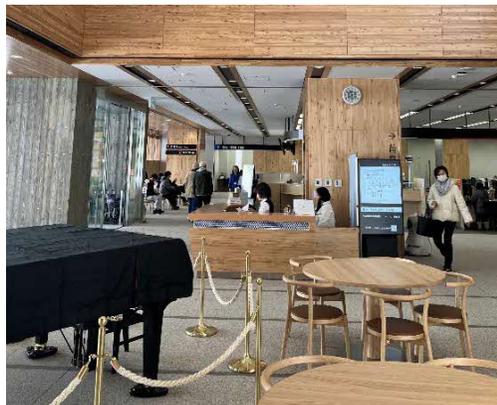
展望テラスでは昼時にパン等の販売も実施▶



3. 網走市庁舎

庁舎機能に加え、防災拠点や環境に優しい庁舎、まちづくりの拠点にふさわしい庁舎を目指して整備。高い耐震性能やZeb Readyを実現するとともに、市民交流を促進する機能が整備されている。

施設名称	網走市役所庁舎
所在地	北海道網走市南5条1丁目10番地
人口	31,732人（2025年6月末時点）
開業年月日	2025年2月25日
延床面積	6,444m ²
主要施設	役場庁舎、地域交流スペース



◀ 1階の交流スペースにはピアノが設置されている（自由に弾けるようにはなっていない）

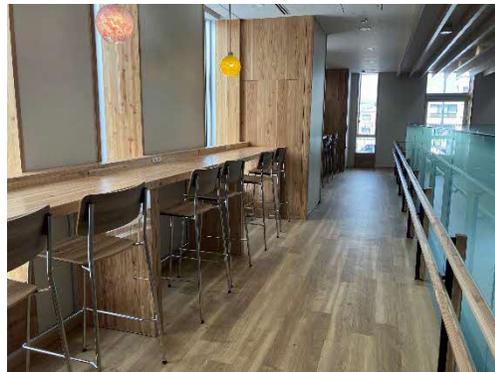
フリースペースに併設されているキッズスペース▶



◀ 仕事や勉強等ができる自由な空間
昼時は職員が弁当を食べる姿も



▲ 防災、環境、まちづくりに配慮した庁舎を整備



4. 古平町役場

旧役場庁舎と旧文化会館の老朽化により、防災拠点と交流拠点としての機能を併せ持つ複合施設として整備。省エネ技術を取り入れ、新築公共建築物において北海道内で初めてとなるZEB Readyを取得。

施設名称	古平町複合施設かなえーる
所在地	北海道古平郡古平町大字浜町50番地
人口	2,543人（2025年6月末時点）
開業年月日	2022年2月竣工
延床面積	3,887m ²
主要施設	役場庁舎、地域交流センター（ホール、調理実習室、多目的室、和室、創作活動室）、図書館、視聴覚室



◀ 1階ロビーにはベンチとともにパンフレットが置かれ、気軽に時間を過ごすことができる

気軽に休める空間となっている▶
2階ロビー



◀ 椅子と机が設置され、様々な用途で利用可能なロビー



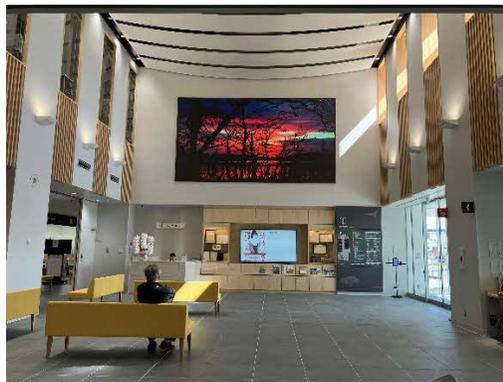
▲ 庁舎と多様な機能を複合し、交流拠点および防災拠点として整備。



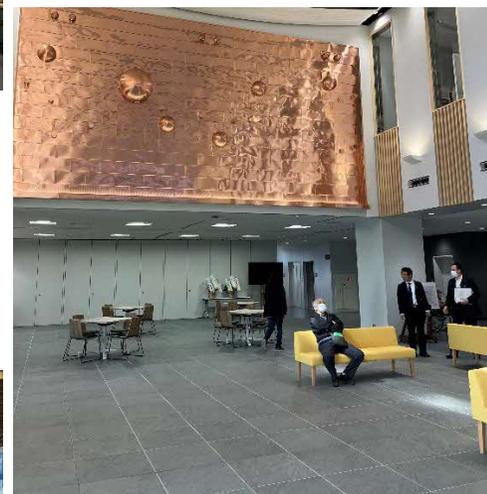
5. 根室市庁舎

庁舎機能に加えて災害備蓄倉庫や防災に関する情報発信スペースなどをもうけ、災害時の拠点施設としても使用可能な市庁舎を整備。

施設名称	根室市役所
所在地	北海道根室市常磐町2丁目27番地
人口	22,468人（2024年12月31日時点）
開業年月日	2022年5月7日
延床面積	6,975㎡
主要施設	役場庁舎、防災ギャラリー、市民交流サロン



◀ エントランスホールには、市民が時間を過ごせるよう、広い空間に椅子とベンチが置かれ、大型のモニターが設置されている▼



◀ 見晴らしの良い4階の食堂横に配置された市民交流サロン



▲ 地震に備えた災害拠点としても使用可能な市役所として整備。



ホール機能に併設した交流機能

1. 別海町生涯学習センターみなくる

中央公民館の老朽化を背景に、まちのにぎわいが感じられる交流のまちづくりを目指して新たな町民の交流拠点として整備。多様な機能が集約し、様々な世代が利用できる施設となっている。

施設名称	生涯学習センター「みなくる」
所在地	北海道野付郡別海町別海旭町149番1
人口	13,806人（2025年6月末時点）
開業年月日	2022年4月1日
延床面積	5,029㎡
主要施設	ホール、舞台、控室、リハーサル室、活動室、調理実習室、会議室、木工美術室、陶芸室、和室、茶室、ふれあいいきいきサロン

▼ガラス張りの明るい空間となっているホワイエ。図書や公衆無線LANを整備し、町民の交流の場となっており、イベントのない日は学生が勉強している姿も



▼滑り台やクライミングウォールを備えた親子活動室



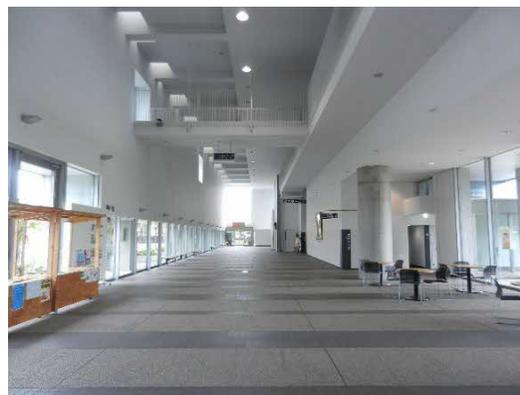
▲様々な世代が利用しやすい町民の交流拠点として整備

写真：生涯学習センターみなくる 施設パンフレット

2. 砂川市地域交流センターゆう

世代間の交流や芸術・文化活動などを通じたまちづくりの活動・発信拠点施設として整備。JR砂川駅となぐ自由通路が整備され、アクセス面にも優れた施設となっている。

施設名称	砂川市地域交流センターゆう
所在地	北海道砂川市東3条北2丁目3-3
人口	15,372人（2024年時点）
開業年月日	2007年1月7日
延床面積	4,468㎡
主要施設	ホール設備、賑わいゾーン、研修室、食品工房、多目的工房、IT工房、交流談話室、児童プレイルーム、図書兼交流室、ミーティングルーム、幼児プレイルーム、屋外交流ゾーン、駅直結自由通路



◀休憩やホール使用時の待合として使用可能な交流スペース。展示スペースやイベントスペースとしても使用可能。平日は学生の姿が多い

交流スペースにはピアノが設置されており、誰でも自由に弾くことができる▶



▼中庭に面した交流スペース

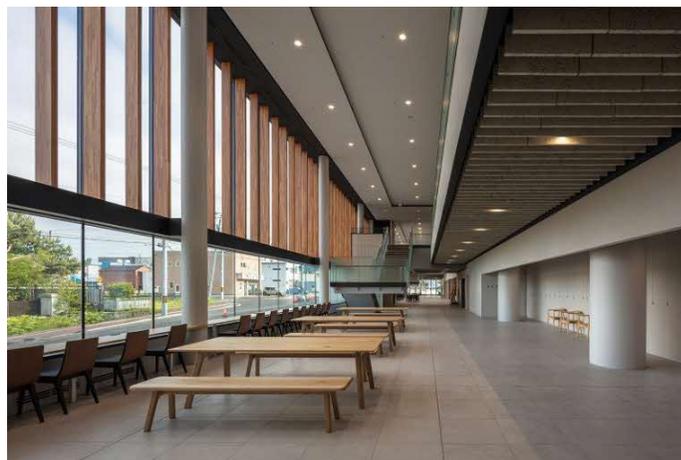


▲市民の交流・活動拠点として整備。指定管理により地元のNPO法人が運営
写真：ゆうHP

3. 遠軽町芸術文化交流プラザメトロプラザ

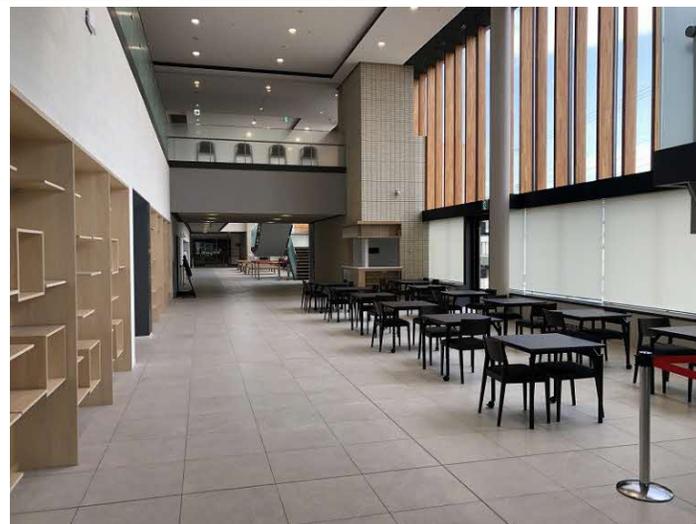
音楽を中心とした芸術・文化活動の拠点、また賑わいや交流を創出し町民のよりどころとなる施設として整備。「吹奏楽のまち」の文化を継承するとともに、子どもから高齢者の交流拠点となっている。

施設名称	遠軽町芸術文化交流プラザメトロプラザ
所在地	北海道紋別郡遠軽町岩見通南1丁目
人口	17,329人（2025年5月末時点）
開業年月日	2022年8月26日
延床面積	7,348㎡
主要施設	大ホール、小ホール、ホワイエ、スタジオ、リハーサル室、調理研修室、楽屋、和室、和目的室



◀ ガラス張りで開放的な空間となっている小ホール前のホワイエ。窓側の席には電源が完備され、ワーキングスペースとしても使用可能

大ホール前のホワイエ▶



写真：メトロプラザHP



▲ 市民の文化活動・交流拠点としてホールや交流機能が整備。指定管理により地元の商工会議所が運営

その他施設の交流機能

1. まちなか交流施設すないる

市民および観光客にとって親しみのある施設となることを目指し、「賑わいと魅力を生むまちの居場所」をコンセプトとして整備。まちなかの気軽な居場所、賑わいおよび砂川の魅力を創出する施設となっている。

施設名称	まちなか交流施設すないる
所在地	北海道砂川市西1条北2丁目1番20号
人口	15,372人（2024年時点）
開業年月日	2025年4月20日
延床面積	1,082㎡
主要施設	カフェ、フリースペース、多目的室、屋外広場



◀ 施設の中心に設けられた交流スペース

イベントや会議などで貸し切り利用が可能な多目的室。
利用がない時は図書スペースとして開放している（閲覧のみ） ▶



◀ カフェ前の飲食可能な交流スペース



▲ 市民および観光客の交流施設として整備。指定管理により地元の商工会議所および観光協会共同体が運営



2. 生涯学習センターきらん

地域・広域的な交流拠点として、多世代間交流の促進・賑わいの創出を目指して整備。市民活動センターや子どもの遊び場などが整備され、一人ひとりがいきいきと学び、交流することができる場となっている。

施設名称	FKホールディングス 生涯学習センターきらん
所在地	北海道室蘭市中島町2丁目22-1
人口	42,981人（2025年6月末時点）
開業年月日	2018年12月
延床面積	4,495㎡
主要施設	ブックパーク、キッズパーク、プレイコート、貸室機能、市民活動センター、



自動販売機が併設され、飲食しながら過ごすことが可能なスペース▶

◀おしゃべりや勉強等、多様な使い方ができる交流スペース



◀ 4万冊が収蔵されているブックパーク。閲覧や貸し出しが可能



▲多世代の交流・学習拠点として整備。指定管理により民間企業が運営



キッズパークに付随した休憩スペース▶



3. 拠点複合施設りすた

「笑顔とにぎわいがこだまする街」の実現を目指し、公共交通結節点、行政窓口、図書館などの機能を集約した複合施設として整備。

施設名称	夕張市拠点複合施設りすた
所在地	北海道夕張市南清水沢4丁目48番地12
人口	6,025人（2025年5月末時点）
開業年月日	2020年3月1日
延床面積	1,700㎡
主要施設	ゆうぱりっこひろば親子ラウンジ、りすた図書館、多目的室、多目的ホール、待合交流スペース、公共交通ロータリー、南支所、教育委員会事務局、キッチンスペース、学習室



◀気軽に休憩・おしゃべりや公共交通の待合として利用可能な待合交流スペース▼



▲約13,000冊の蔵書を持つ図書館が併設されており、閲覧や貸し出しが可能▶



▲多様な機能を集約し、様々な使い方ができる施設として整備

4. にぎわい交流拠点LAKUNAはくい

羽咋駅周辺に賑わいを創出するため、「羽咋の未来をともし、集い、ふれあう、賑わい拠点づくり」を基本コンセプトに、羽咋駅前の商業施設跡地を活用して整備。多世代が集う場となっている。

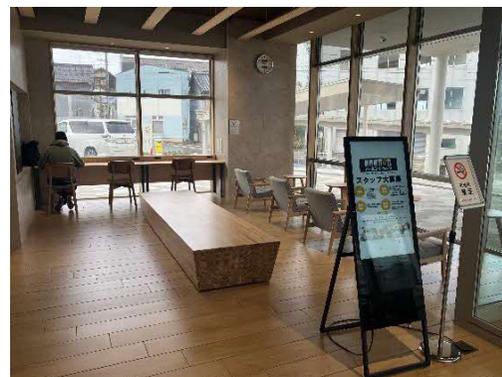
施設名称	LAKUNAはくい
所在地	石川県羽咋市川原町テ39番地1
人口	19,423人（2025年6月1日時点）
開業年月日	2024年7月1日
延床面積	2,728㎡
主要施設	図書カフェ、学習スペース、屋内公園、キッチンスタジオ、アートスタジオ、eスポーツスタジオ、貸し部屋、ホール、屋外広場



▲羽咋駅前に官民連携で整備。指定管理により民間企業が運営

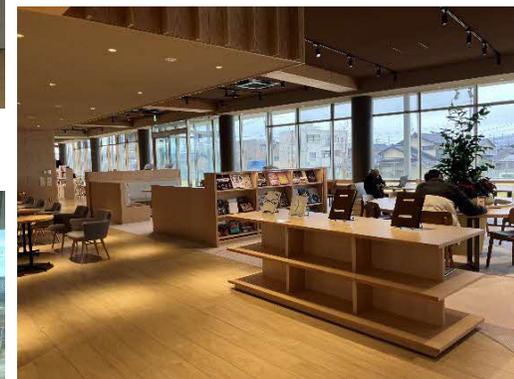


▼カフェ横の交通待合スペース



民間商業施設「LAKUNAぷらす」が隣接しており、飲食店と飲食可能なスペースが整備▶

◀民間運営のカフェが出店。図書スペースも併設されており、飲食しながらの読書や勉強、おしゃべりなどが可能。図書スペースにある約4,000冊の本は運営事業者が購入・管理（閲覧のみ）▼



5. ラポルテ五泉

地域の活力を維持・向上するための新たな拠点づくりや、地域産業の魅力を発信し、観光資源としての活用を必要性を背景に、「人・モノ・情報」が集まり、交流と学び、産業振興が一体となる場として整備。

施設名称	五泉市交流拠点複合施設ラポルテ五泉
所在地	新潟県五泉市赤海863番地
人口	45,105人（2025年5月31日時点）
開業年月日	2021年10月
延床面積	3,744㎡
主要施設	多目的ホール、多目的室、産直ショップ、カフェテリア、子どもの遊び場、ギャラリーなど



◀カフェに付随した飲食・交流スペース

子ども連れ専用の飲食スペースが設けられ、子連れでも安心して飲食が可能▶



◀写真の展示スペース前に設けられた休憩スペース



▲多様な機能を集約した交流拠点施設として整備。指定管理により民間企業が運営



6. アオーレ長岡

旧施設の老朽化、中心市街地のにぎわい創出、交通弱者対策などの課題を背景に、市民・行政・議会が日常的に交流できるまちなか市役所を実現を目指し、中心市街地の活性化と市民協働の拠点として整備。

施設名称	アオーレ長岡
所在地	新潟県長岡市大手通1丁目4-10
人口	253,596人（2025年6月6日時点）
開業年月日	2012年4月
延床面積	35,485㎡
主要施設	庁舎、議場、ナカドマ、アリーナ、市民交流ホール、ホワイエ、多目的室、市民共同センター、会議室など

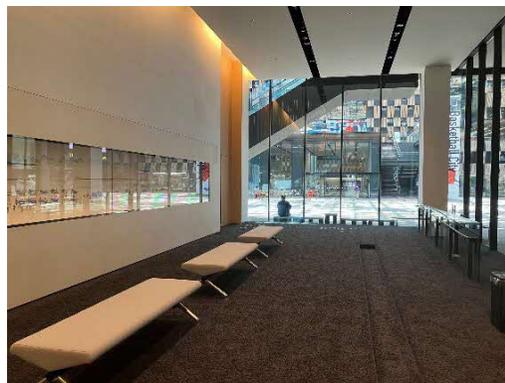


◀施設中心のナカドマには椅子と机が設けられ、自由に過ごすことが可能。屋根がかかっており、悪天候時でもイベント等の開催が可能

ホール前のホワイエ。パブリックビューイング等も実施される▶



◀議場前の休憩スペース



▲中心市街地のにぎわい拠点および市民協働の拠点として整備。指定管理により地元のNPO法人が運営